

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 1 月 30 日(2025.1.30)

【公開番号】特開 2025-10229(P2025-10229A)
【公開日】令和 7 年 1 月 20 日(2025.1.20)
【年通号数】公開公報(特許)2025-010
【出願番号】特願 2024-188519(P2024-188519)
【国際特許分類】

H 1 0 K 5 0 / 8 5 2 (2 0 2 3 . 0 1)

10

【 F I 】

H 1 0 K 5 0 / 8 5 2

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 1 月 22 日(2025.1.22)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第 1 の基板と、第 1 の電極と、金属酸化物層と、第 1 の層と、第 1 の発光層と、第 2 の層と、第 2 の発光層と、第 2 の電極と、を有し、
前記第 1 の電極は、前記第 1 の基板と前記金属酸化物層の間に設けられ、
前記第 1 の層は、前記金属酸化物層と、前記第 1 の発光層の間に設けられ、
前記第 2 の層は、前記第 1 の発光層と、前記第 2 の発光層の間に設けられ、
前記第 2 の発光層は、前記第 2 の層と、前記第 2 の電極の間に設けられ、
前記第 1 の電極は、チタンを有し、
前記金属酸化物層は、インジウムと錫とを有し、
前記第 1 の層は、遷移金属の酸化物を有し、
前記第 2 の層は、アルカリ金属の化合物またはアルカリ土類金属の化合物を有し、
前記第 1 の発光層と前記第 2 の発光層は、それぞれ異なる波長の光を発光し、
前記導電性の金属酸化物膜の前記第 1 の電極側の表面と、前記第 2 の電極の前記第 2 の発光層側の表面との間の光学距離 L が 6 5 0 n m 乃至 1 5 0 0 n m であり、
前記第 1 及び第 2 の発光層からの光の波長は、共に $L = n / 2$ (n は 2 以上の整数) を満たす、発光装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記遷移金属の酸化物は、モリブデン酸化物である、発光装置。

40

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、
第 2 の基板を有し、
前記第 2 の電極は、前記第 2 の発光層と前記第 2 の基板の間に設けられ、
前記第 1 の発光層および前記第 2 の発光層は前記第 1 の基板、前記第 2 の基板、シール材に囲まれている、発光装置。

50